

3-3 東洋史

研究・教育活動の概要と特色

本専攻分野の特色は、第一に中国語学中国文学や中国思想中国哲学という他専攻分野との連携を重視すること、第二に教員各三名がすべて中国史研究者であること、第三に学生・院生に対する指導において特に中国古典文（漢文）の読解を重視すること、以上の三点に要約される。

第一の点は、本専攻分野の初代教授岡崎文夫以来の伝統を継承したものである。岡崎および青木正児（文学）・武内義雄（思想）は、中国の人と文化の理解に至るために、歴史、思想、文学といった単一の分野からの接近だけではおのずから限界があると認識していた。その立場は三者の師である内藤湖南のそれを継承したものにはかならないが、今日にいたっていよいよその斬新さが際立つ。現在も本専攻分野では両専攻分野との研究活動等における交流が中国史の考察へ裨益するものとみなし、かかる伝統の維持につとめている。その象徴である三専攻分野共同編集の雑誌『集刊東洋学』（年二回刊行）は、すでに 112 号を数えている。

第二の点は、すでに挙げた多角的な中国研究を課題とする伝統と密接に関連するものであり、また一方では最大三名しか許容されない教員スタッフによって学界における特色ある地位を確保するため、限られた人員を中国史分野に集中することを必した現実的判断の結果でもある。現在では教授熊本（宋元史）および川合（魏晉南北朝隋唐史）、また准教授大野（明清史）によって、前近代中国史のほぼ全体をカバーしている。

第三の点は、具体的には古典文読解の演習を重視することでその実現を目指している。ただし、その演習は卒業論文や修士論文の執筆のための訓練の場とも位置づけており、複数報告者が訳注稿を提示し、またその訳注稿を基礎とした参加者相互の議論を行うなど様々な方法を試みることで、史料読解力はもとより表現力ひいては論証能力の涵養を企図している。なお、演習自体は中国古典文解読を中心とするが、学部生や大学院生それぞれの研究課題設定はその自主的判断に委ねている。本専攻分野出身者のなかには、中国本部（China Proper）と呼称される地域の各時代はもとより、渤海を中心とした環日本海史あるいは清代モンゴル史研究を選択して成果をあげ、それぞれ大学に職を得ている者も存在する。

I 組織

1 教員（2015年5月20日現在）

教授：2

准教授：1

助教：1

教授：熊本崇、川合安

准教授：大野晃嗣

助教：水盛涼一

2 在学生数（2015年5月20日現在）

学部 (2年次以上)	学部 研究生	大学院博士 前期	大学院博士 後期	大学院 研究生
13	0	4	6	0

3 修了生・卒業生数（2010～2014年度）

年度	学部卒業生	大学院博士課程 前期修了者	大学院博士課程 後期修了者 (含満期退学者)
10	1	1	0
11	1	1	1
12	2	0	3
13	3	3	0
14	3	2	0
計	10	7	4

II 過去5年間の組織としての研究・教育活動（2010～2014年度）

1 博士学位授与

1-1 課程博士・論文博士授与件数

年度	課程博士授与件数	論文博士授与件数	計
10	0	0	0
11	1	0	1
12	3	0	3
13	0	0	0
14	0	1	1
計	4	1	5

1-2 博士論文提出者氏名、年度、題目、審査委員

小尾孝夫，2011年度，『南朝宋齊政権の権力構造とその基盤』

審査委員：教授・川合安（主査），教授・熊本崇，教授・佐竹保子，准教授・大野晃嗣

三田辰彦，2012年度，『東晋皇帝制度研究』

審査委員：教授・川合安（主査），教授・熊本崇，教授・佐竹保子，准教授・大野晃嗣

水盛涼一，2012年度，『中国近代地方行財政制度研究』

審査委員：教授・熊本崇（主査），教授・川合安，教授・三浦秀一，准教授・大野晃嗣

高橋亨，2012年度，『中国明代政治システムの研究

——内閣制度の形成過程とその歴史的背景』

審査委員：教授・熊本崇（主査），教授・川合安，教授・三浦秀一，教授・新宮学（山形大学より），准教授・大野晃嗣

川合安，2014年度，『南朝貴族制研究』

審査委員：教授・熊本崇（主査），教授・佐竹保子，教授・三浦秀一

2 大学院生等による論文発表

2-1 論文数

年度	審査制学術誌 （学会誌等）	非審査制誌 （紀要等）	論文集 （単行本）	その他	計
10	1	3	0	1	5
11	1	2	3	0	6
12	2	0	3	9	14
13	2	0	0	0	2
14	1	0	0	0	1
15	1	0	0	0	1
計	8	5	6	10	29

*2015年度は5月20日までの数字。ただし、以後の掲載が決定しているものも含む。

2-2 口頭発表数

年度	国際学会	国内学会	研究会	その他	計
10	1	3	2	0	6
11	2	5	2	0	9

12	1	2	2	0	5
13	0	3	0	0	3
14	0	2	0	0	2
15	0	1	0	0	1
計	4	16	6	0	26

* 2015年度は5月20日までの数字。ただし、以後の発表が決定しているものも含む。

2-3 上記の大学院生等による論文・口頭発表の中の主要業績

(1) 論文

佐々木仁志「「義帝約」考」中国文史哲研究会『集刊東洋学』第109号, 2013年7月

佐々木仁志「漢朝成立後の劉邦集團の動向に就いて—高祖期・呂太后稱制時期を中心にして」, 東北史学会『歴史』第122輯, 2014年4月

佐々木仁志「劉邦集團から帝国臣僚の登場へ—王国政策の轉換を巡って」, 『歴史』第124輯, 2015年4月

周曉萌「翻訳: 劉前鳳・王茜「春秋戦国時代における巴蜀地域の冶鉄業について」, 『アジア文化史研究』第13号, 2013年3月

周曉萌「(趙力傑と共訳)「翻訳: 蔣剛「資料からみた先秦期三峡地域の東西文化交流について」, 『東北学院大学論集—歴史と文化』第50号, 2013年3月

時堅「翻訳: 牛英彬「重慶東南郁江流域塩業遺址の発掘と研究」」, 『東北学院大学論集—歴史と文化』第52号, 2015年3月

高橋亨「明代永樂期内閣官の性格について」, 東北史学会『歴史』第116輯, 2011年4月

高橋亨「明代内閣職掌形成過程の研究—經筵制度の成立を分析の焦点として」, 史学研究会『史林』第95巻第3号, 2012年5月

趙力傑「翻訳: 雷翔「清江上流の土家族における「還壇神」祭祀について」」, 『アジア文化史研究』第13号, 2013年3月

趙力傑「翻訳: 王曉寧「恩施地域における碑刻資料の保存と研究について」」, 『アジア文化史研究』第13号, 2013年3月

趙力傑「翻訳: 常雲平・張周「近代中国における留日学生の主要な学習対象—鄒容とその著書『革命軍』を例として」」, 『東北学院大学論集—歴史と文化』第49号, 2013年3月

- 趙力傑（周曉萌と共訳）「翻訳：蔣剛「資料からみた先秦期三峡地域の東西文化交流について」，『東北学院大学論集——歴史と文化』第50号，2013年3月
- 中本圭亮「後漢順帝期の人事制度改革について」中国文史哲研究会『集刊東洋学』第108号，2013年1月
- 中本圭亮「汝南袁氏に関する二・三の問題」三國志学会『三國志研究』第8号，2013年9月
- 水盛涼一「新刊紹介：大阪経済大学日本経済史研究所編『東アジア経済史研究 第一集 ～中国・韓国・日本・琉球の交流～』」，東北史学会『歴史』第115輯，2010年9月
- 水盛涼一「近代中国における出版自主規制について——清末と現代にみる言葉遊びの真実」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二一年度 院生プロジェクト成果報告書』，2011年2月
- 水盛涼一「清末出版統制序説——禁書指定・自主規制・地下出版のはざままで」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二一年度 事業成果報告書』第一分冊，2011年3月
- 水盛涼一「厦門大学教育研究院における研修について」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二一年度 事業成果報告書』第一分冊，2011年3月
- 水盛涼一「清末における地方官僚社会の変容——浙江省各種『同官録』成立を中心として」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二〇～二二年度 歴史資源アーカイブ成果報告書』，2011年4月
- 水盛涼一「中国地方官僚人名録解題稿——『同官録』の世界」，東北大学大学院文学研究科大学院 GP 事務室編『組織的な大学院教育改革支援プログラム 歴史資源アーカイブ国際高度学芸員養成計画 平成二二年度 事業成果報告書』，2011年5月
- 水盛涼一「清末官員考試制度小論——以浙江『甄別仕途新章』為中心」，天一閣博物館編『科舉與科舉文獻國際學術研討會會議論文集』上冊，上海書店出版社，2011年7月

- 水盛涼一「太平天国江南蘇福兩省地域考略——以清末江蘇甯屬蘇屬的分化為中心」，
南京大學・中國太平天國史研究會・江蘇省太平天國史學會・太平天國歷史博物館
館『紀念太平天國起義一六〇周年學術研討會論文集』太平天國歷史博物館，2011
年8月
- 水盛涼一「科舉正途官員與雜途官員——通過同鄉會館的建立看清末官僚社會的變
革」，武漢大學『第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會 科舉文獻整理與研究論
文集』下冊、2011年9月
- 水盛涼一「太平天国江南蘇福兩省地域考略——以清末江蘇甯屬蘇屬的分化為中心」，
王繼平主編『曾國藩研究』第六輯、湘潭大學出版社，2012年4月
- 水盛涼一「清朝の歴史意識——以遼王朝為中心」，中國社會科學院歷史研究所・香
港理工大學中國文化學系・北京師範大學古籍與傳統文化研究院『中國社會科學
論壇——第三屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會論文集』中國社會科學院
歷史研究所，2012年10月
- 水盛涼一「清人のみた遼王朝」，荒川慎太郎・澤本光弘・高井康典行・渡辺健哉編
『契丹〔遼〕はどう語られてきたのか——契丹史と一〇～一二世紀の東部ユー
ラシア』，勉誠出版株式会社，2013年1月
- 水盛涼一「翻訳・丁建華「重慶師範大學博物館の運営に関する初歩的考察」」，東
北学院大學大学院文學研究科アジア文化史專攻編『アジア文化史研究』第13号，
2013年3月
- 水盛涼一「翻訳・管維良「重慶の歴史と文化」」，東北学院大學大學學術研究会編
『東北学院大學論集 歴史と文化』第50号，2013年3月
- 水盛涼一「翻訳・陳千万「襄陽市菜越の大型三国墓の発掘と研究」」，東北学院大
學アジア流域文化研究所編『アジア流域文化研究』第9号，2013年3月
- 水盛涼一「翻訳・楊華「長江三峡地域における太古の時代の埋葬習俗文化の考古学
的研究」」，東北学院大學アジア流域文化研究所編『アジア流域文化研究』第9
号，2013年3月
- 三田辰彦「東晋の哀帝と皇統継承問題」，東北史学会『歴史』第114輯，
2010年4月

(2) 口頭発表

- 井上満奈実「唐代における賜姓制度」，東北史学会，福島大学，2014年10
月4日

- 佐々木仁志「わが国における前漢初期諸侯王国の研究」，東北史学会，東北大学，2011年10月2日
- 佐々木仁志「義帝約考」，東北史学会，岩手大学，2012年10月7日
- 高橋亨「明代吉安府における家塾教育と当地士人間の交流について」，東北史学会，山形大学，2010年10月3日
- 高橋亨「明代進講制度の形成について」，東北史学会，東北大学，2011年10月2日
- 中本圭亮「後漢順帝期の人事制度改革について」，東北史学会，岩手大学，2012年10月7日
- 中本圭亮「後漢桓・靈・獻帝期の政治問題」，東北中国学会，岩手大学，2013年5月26日
- 中本圭亮「後漢順帝期再考」，東北史学会，東北大学，2013年10月13日
- 中本圭亮「後漢史における順帝期の位置」，史学会，東京大学，2013年11月10日
- 中本圭亮「『英雄記』について」，東北中国学会，福島大学，2014年5月25日
- 中本圭亮「後漢の三公府と尚書臺について」，東北中国学会，2015年5月31日
- 水盛涼一「清末漢土における八旗官僚の動向」，共同研究「北アジアにおける帝国統治の遺産に関する研究」平成22年度第1回研究会，東北大学，2010年7月3日
- 水盛涼一「清朝末期の漢地における八旗官僚の趨向」，第5回清朝時代史懇話会，早稲田大学，2010年9月29日
- 水盛涼一「清末官員考試制度小論——以浙江『甄別仕途新章』為中心」，科舉與科舉文獻國際學術研討會，寧波天一閣博物館，2010年12月20日
- 水盛涼一「科舉正途官僚と雜途官僚——『同官錄』より見た清末官僚社会の変容」，応用科舉史学研究会第四回ワークショップ，東北大学，2011年8月4日
- 水盛涼一「太平天国江南蘇福兩省地域考略——以清末江蘇甯屬蘇屬的分化

- 為中心」，紀念太平天國起義一六〇周年學術研討會，南京大學，2011年8月12日
- 水盛涼一「太平天國における戯曲政策散論」，第九回特別推進研究「清朝宮廷演劇文化の研究」研究会，東北大學，2011年9月13日
- 水盛涼一「科舉正途官員與雜途官員——通過同鄉會館的建立看清末官僚社會的變革」，第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會，武漢大學，2011年9月25日
- 水盛涼一「常税と蠶捐のあいだ——清末安徽省における蕪湖関・鳳陽関の処遇変遷をめぐって」，東北史学会，東北大學，2011年10月2日
- 水盛涼一「清朝的歴史意識——以遼王朝爲中心」，中國社會科學論壇——第三屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會，中國社會科學院歷史研究所・香港理工大學中國文化學系・北京師範大學古籍與傳統文化研究院，2012年10月19日
- 水盛涼一「近代中国における分節構造の形成と展開——清朝における地方官僚組織の変容を中心に」，第四十回東洋史学研究会，福岡大學，2012年11月18日
- 水盛涼一「清朝後期の支配層——滿蒙王公や八旗官僚と漢族科舉官僚との關係を中心に」，応用科舉史学研究会第十二回研究集会，福岡教育大學，2013年1月12日
- 三田辰彦「東晋劉宋期の皇太妃と皇太后」，第59回東北中国学会，弘前大學，2010年5月30日
- 三田辰彦「東晋の「皇太妃」号議論とその展開」，第14回六朝學術学会，斯文會館講堂，2010年6月13日
- 三田辰彦「東晋中葉の尊号問題——皇太妃号の議論を中心に」，第109回史学会大会，東京大學，2011年11月6日
- 三田辰彦「東晋皇帝制度研究序説——皇位繼承を中心に」，第一回若手中国史論壇，東方学会，2012年3月4日

3 大学院・学部生等の受賞状況

なし

4 日本學術振興会研究員採択状況

平成 27 年度～29 年度 日本学術振興会特別研究員 DC 1 1 名

5 留学・留学生受け入れ

5-1 大学院生・学部生等の留学生

2011 年度 学部生 計 1 名 The University of Findlay (United States of America)

2013 年度 学部生 計 1 名 国立台湾大学 (中華民国)

2014 年度 大学院生 計 1 名 北京大学 (中華人民共和国)

5-2 留学生の受け入れ状況 (学部・大学院)

年度	学部	大学院	計
10	1	0	1
11	2	1	3
12	1	1	2
13	2	2	4
14	1	4	5
15	0	1	1
計	7	9	16

6 社会人大学院生の受け入れ数

年度	前期課程	後期課程	計
10	0	1	1
11	0	0	0
12	0	0	0
13	0	0	0
14	0	0	0
15	0	0	0
計	0	1	1

7 専攻分野出身の研究者・高度職業人 (2010～2014 年度)

7-1 専攻分野出身の研究者

小尾孝夫, 大手前大学総合文化学部, 2012 年度

周曉萌, 天津理工大学外国語学院, 2014 年度

7-2 専攻分野出身の高度職業人

中高教員 2 名

出版社社員 1 名

8 客員研究員の受け入れ状況

なし

9 外国人研究者の受け入れ状況

なし

10 刊行物

2010～2014 年 『集刊東洋学』（専門分野の機関誌）＊，年 2 回発刊

2010～2014 年 『東北大学東洋史論集』（専門分野の機関誌）隔年刊行

＊中国語学中国文学・中国思想中国哲学の両専攻分野との共同編集

11 学会・研究会・講演会・シンポジウム等の開催・事務局等引き受け状況

2012 年 5 月 26～27 日，第六十一回東北中国学会大会準備委員会

12 専攻分野主催の研究会等活動状況

2013 年度，4 月 1 日 平成二十五年春期東洋学研究会

7 月 20 日 平成二十五年夏期東洋学研究会

9 月 9 日 平成二十五年秋期東洋学研究会

2014 年度，4 月 1 日 平成二十六年春期東洋学研究会

6 月 17 日 平成二十六年春期第二次東洋学研究会

7 月 22 日 平成二十六年夏期東洋学研究会

9 月 9 日 平成二十六年秋期東洋学研究会

2015 年度，4 月 1 日 平成二十七年春期東洋学研究会

13 組織としての研究・教育活動に関する過去 5 年間の自己点検と評価

過去五年間で、本専攻分野に在籍し博士学位を取得したものは四名であった。しかし彼らは後期課程の三年間で学位を取得したわけではない。うち一名は後期課程進学後五年目で、また三名は後期課程退学後一年目に学位を取得し、また一名はさらにそれ以降に取得

した者である。そもそも本研究科全体を通してみても進学後三年以内での学位取得者は少ない。とはいえ最低でも留学期間を控除するとしても後期課程在籍を許される年限となる六年以内での学位取得件数を増加させなければなるまい。

総体に後期課程学生の業績不足の遠因は、学生が短期的な論文作成に注力するあまり、大局的で継続可能なテーマの探求をおろそかにしている点に求められるように思う。論文の濫造傾向は昨今の業界の宿痾ともいえるが、これではたとえ当面の論文は完成できても、その作業が次のそれに連続しえず、主題もより一層の展開を達成しえない。相互に密接に関連する諸論文を作成してこそ、それが博士学位請求論文に結びつくものであろう。ここには研究室内部で学生たちが相互に刺戟し切磋しあう場が適正に機能しえていないことも遠因のひとつと考えられる。この点を考慮しつつ、以後指導に努めたい（いうまでもなく後期課程学生主導の研究会等の活性化は、前期課程ひいては学部生をも裨益する）。

この五年間における本専攻分野からの海外留学は三件にすぎない。近十年とすれば七件となるが、これはそれ以前に比べれば確実に増加しているものの、決して十分な数ではありえない。本学は旧制第二高等学校および帝国大学文学部の開設以来、膨大な中国文献を蓄積してきたため、留学により各学生の研究環境が劇的に好転することはなかろう。とはいえ、語学力の大幅な向上や当該国文化への直接接触、およびなによりも“人治の国”中国での中国人研究者との人脈形成は、長期的な研究活動を大いに利することは確実であろう。今後、特に学術論文二本を執筆して博士学位請求論文の執筆資格を獲得した者には、積極的に留学を勧めていく。

Ⅲ 教員の研究活動（2010～2014年度）

1 教員による論文発表等

1-1 論文

熊本崇「宋元祐の吏額房——三省制の一検討」, 東洋史研究会『東洋史研究』第69巻第1号, pp29-59, 2010年7月

熊本崇「宋神宗立太子前後——哲宗定策問題序説」, 中国文史哲研究会『集刊東洋学』第107号, pp68-92, 2012年6月

熊本崇「高氏延和殿宣諭——宋蔡確「車蓋亭」案の一側面」『東北大学文学研究科研究年報』第63号, pp35-71, 2014年3月

川合安「南朝史からみた隋唐帝国の形成」, 唐代史研究会『唐代史研究』第15号, pp3-21, 2012年8月

大野晃嗣「景泰天順兩朝的政權運営與科舉——從景帝即位至英宗復辟」,

- 天一閣博物館編『科舉與科舉文獻國際學術研討會會議論文集』下冊，上海書店出版社，pp118-131，2011年7月
- 大野晃嗣「科舉研究の現状と「科挙学」」，『「共生」の空間——異文化の接触・交渉・共存をめぐる総合的研究』，「「共生」の空間——異文化の接触・交渉・共存をめぐる総合的研究」研究会(京都府立大学岡本隆司主催)，pp113-120，2012年3月
- 大野晃嗣「明代會試考官初探——以會試錄爲中心」，陳文新・余來明編『科舉文獻整理與研究——第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會論文集』武漢大學出版社，pp.99-111，2013年4月
- 大野晃嗣「關於明朝會試考官的考察——以執事官爲中心」，中國社會科學院學部主席團編『中國社會科學論壇 2014 歷史學 第五屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會』浙江工商大學日本語言文化學院，pp.237-260，2014年10月
- 大野晃嗣「關於萊頓大學所藏『道光甲辰恩科順天鄉試硃卷』」，中華炎黃文化研究會科舉文化專業委員會・廈門大學考試研究中心『第十一屆科舉制與科舉學國際學術研討會論文彙編』廣東訊飛啓明科技發展有限公司，pp.188-192，2014年11月
- 小尾孝夫「東晉時期晉陵郡域内無実土僑郡太守・僑県令与僑民關係考論——以僑民的役・征役・税租負担問題为重点的重新考察」，『中国中古史研究(中国中古史青年学者聯誼会会刊)』創刊号，中国中古史青年学者聯誼会，pp157-176，2011年2月
- 小尾孝夫「南朝宋齊時期の国軍体制と僑州南徐州」，『唐代史研究』第13号，唐代史研究会，pp3-32，2010年8月
- 水盛涼一「科舉正途官員與雜途官員——通過同鄉會館的建立看清末官僚社會的變革」，陳文新・余來明編『科舉文獻整理與研究——第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會論文集』武漢大學出版社，pp.476-477，2013年4月
- 水盛涼一「召見の風景——清朝後期における謁見儀礼の基礎的研究」東北大学文学会『文化』第77卷第1・2号，pp.1-24，2013年9月
- 水盛涼一「清末謁見制度論考——三種官員日期介紹與分析」，中國社會科學院學部主席團編『中國社會科學論壇 2014 歷史學 第五屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會』浙江工商大學日本語言文化學院，pp.261-275，2014年10月
- 水盛涼一「科舉制與中央機關——以清末『戸部同官錄』八旗官僚爲中心」，中華炎黃文化研究會科舉文化專業委員會・廈門大學考試研究中心『第十一屆科舉制與

科舉學國際學術研討會論文集編』廣東訊飛啓明科技發展有限公司, pp.193-217,
2014年11月

水盛涼一「清朝末期の候補官僚と人事評価——光緒初年の官僚試験制度導入を中心に」東北大学大学院文学研究科『東北大学文学研究科研究年報』第64号,
pp.31-63, 2015年3月

水盛涼一「天津の吉野作造とその時代——清朝における法政学堂を中心として」郭
連友・大川真編『東アジア文化交流叢書』第一巻『吉野作造と近代中国』吉野
作造記念館, pp.31-63, 2015年4月

1-2 著書

大野晃嗣・齋藤智寛・陳青・渡邊健哉『東北大学附属図書館所蔵中国金石文拓本集
——附：關聯資料』, 東北大学附属図書館蔵「中国金石文拓本集」寫真帳出版
事業, pp.1-389, 2013年2月

川合 安『南朝貴族制研究』, 汲古書院, pp.3~360, 2015年1月

1-3 翻訳、書評、解説、辞典項目等

(1) 翻訳

水盛涼一訳, 白九江「四川盆地における古代の塩業技術」, 『東北学院大学論集 歴
史と文化』第53号, pp.181-208, 2015年3月

(2) 書評

川合安「福原啓郎著『魏晉政治社会史研究』」, 『唐代史研究』第16号,
pp.105-112, 2013年8月

(3) 解説

(4) 事典項目

(5) その他

川合安・林香奈・大形徹・柳川順子・佐竹保子・長谷部剛・佐藤大志「『隋書』音
楽志訳注稿(五)」広島中国文学会『中国学研究論集』第26号, pp.1-64
(川合担当 pp.12-18), 2011年4月

- 川合安「唐代初期の「士族」研究——李浩著『唐代〈文学士族〉の研究』の刊行に寄せて」，中国文史哲研究会『集刊東洋学』第 105 号，pp80—92，2011 年 6 月
- 川合安・『世説新語』劉孝标注研究会「『世説新語』劉孝标注訳注稿（四）」，『東北大学中国語学文学論集』第 18 号,pp25 - 57（川合担当 pp26 - 57）,2013 年 12 月
- 川合安・林香奈「『旧唐書』音楽志訳注稿（二）」，『関西大学中国文学会紀要』第 36 号，pp.29 - 70（川合担当 pp.61 - 70）
- 川合安「南朝墓誌覚書」，伊藤敏雄編『石刻史料と史料批判による魏晋南北朝史研究』平成 22～26 年度科学研究費補助金(課題番号 22242022)成果報告書，pp.115 - 125
- 小尾孝夫「東晋南朝」，『近三年（2007～2009）日本魏晋南北朝史研究的動向』（共著），『第四届中国中古史青年学者国際研討会會議論文集』，pp486-488・pp494-495，2010 年 8 月

1-4 口頭発表

(1) 国際学会

- 川合安「南朝の士庶区別」，魏晋南北朝史新探索国際學術研討会・中国魏晋南北朝史学会第十一届年会，中国社会科学院／中国北京市，2014 年 10 月 13 日
- 大野晃嗣「景泰天順兩朝の政權運營與科舉——從景帝即位至英宗復辟」，科舉與科舉文獻國際學術研討會，天一閣博物館／中国寧波市，2010 年 12 月 20 日
- 大野晃嗣「明代會試考官初探——以《會試錄》爲中心」，第八屆科舉制與科舉學國際學術研討會，武漢大学，2011 年 9 月 25 日
- 大野晃嗣「關於明朝會試考官的考察——以執事官爲中心」，第五屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會，浙江工商大学日本語言文化學院／中国浙江省杭州市，2014 年 10 月 27 日
- 大野晃嗣「關於萊頓大學所藏『道光甲辰恩科順天鄉試硃卷』」，第十一屆科舉制與科舉學國際學術研討會／中国広東省広州市，2014 年 11 月 14 日
- 水盛涼一「中國題名録文化——官僚名冊的形成與發展」，第四屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會，香港理工大學孔子學院／中国香港市，2013 年 12 月 13 日

水盛涼一「袁世凱与地方統治・官員教育——以法政学堂与日本人教習為中心」,第六屆晚清史研究國際學術研討会,西北民族大学歴史文化学院/中国蘭州市,2014年7月18日

水盛涼一「清末謁見制度論考——三種官員日記介紹與分析」,第五屆中國古文獻與傳統文化國際學術研討會『浙江工商大学日本語言文化學院/中国浙江省杭州市,2014年10月27日

水盛涼一「科舉制與中央機關——以清末『戸部同官録』八旗官員為中心」,第十一屆科舉制與科舉學國際學術研討會/中国広東省広州市,2014年11月14日

(2) 国内学会

熊本崇「北宋の「實録」——「神宗實録」(元祐本)の一側面」,平成二十五年東北シナ学会四月例会,東北大学,2013年4月13日

熊本崇「高氏延和殿宣諭——元祐四年五月二十二日」2013年度中国中世研究者フォーラム例会・唐代史研究会秋期シンポジウム,京都大学総合人間学部,2013年11月2日

熊本崇「宋金兩朝官制比較」遼金西夏史研究会,東北大学文学研究科,2014年3月22日

川合安「南朝史からみた隋唐帝国の形成」,2011年度唐代史研究会夏期シンポジウム,箱根強羅静雲荘,2011年8月22日

川合安「南朝の士庶区別について」,2013年度東北史学会,東北大学,2013年10月13日

川合安「南朝貴族制社会と士庶区別」,第14回魏晋南北朝史研究会,日本女子大学,2014年9月13日

川合安「『貞觀氏族志』における皇族の等級」2014年度東北史学会,福島大学,2014年10月4日

大野晃嗣「明代の会試試験官に関する一考察——執事官を中心として——」2014年度中国中世研究者フォーラム例会,京都大学総合人間学部,2014年11月2日

水盛涼一「清末鴉片事情考略——光緒年間におけるアヘン嗜好とその取り締まりの実態をめぐって」,第62回東北中国学会,岩手大学,2013年5月26日

水盛涼一「清朝後期の君臣関係——吏部尚書徐桐の皇帝謁見記載を中心に」,2013年度東北史学会,東北大学,2013年10月13日

水盛涼一「同郷会館の設立より見た清朝官僚社会の変容」，広島史学研究会 2013 年度大会，広島大学，2013 年 10 月 27 日

水盛涼一「清朝末期における税務管理機構の形成と発展——寧波の釐金局打ち壊しへの対応を中心に」第 63 回東北中国学会，福島大学，2014 年 5 月 25 日

水盛涼一「清朝末期の中央官庁における基層官僚の実態——『戸部同官録』を中心として」，東北史学会 2014 年度大会〔東洋史部会〕，福島大学，2014 年 10 月 4 日

(3) 研究会

川合安「六朝時代の家族・婚姻等に関する研究状況」，ワークショップ〈魏晋南北朝時代のジェンダー構造〉，日本大学文理学部，2014 年 7 月 12 日

川合安「南朝公主の婚姻」，六朝学会第 30 回例会，東北大学，2015 年 3 月 14 日

大野晃嗣「明代中期の社会と監生——天順成化年間を中心に」，応用科举史学研究会第七回研究集会，東北大学，2010 年 9 月 24 日

大野晃嗣「明代会試の試験官に関する基礎的研究——会試録を中心として」，応用科举史学研究会第五回ワークショップ，東北大学，2011 年 8 月 4 日

大野晃嗣「科举研究の現状と「科举学」」，京都府立大学重点戦略研究「共生」の空間」研究会，京都府立大学，2012 年 1 月 6 日

水盛涼一「清末旗人官僚社会初探」，科学研究費「漢人商業地区「買売城」から見る清代モンゴルの経済構造」第一回研究集会，東北大学，2013 年 5 月 14 日

水盛涼一「嗜好と査定——清朝末期のアヘン吸引と官僚管理」，共同研究「近世・近代における内陸アジア遊牧民社会の構造的特質とその変容に関する研究」平成 26 年度第 1 回研究会，東北大学，2013 年 6 月 14 日

2 教員の受賞歴 (2010～2014 年度)

なし

IV 教員による競争的資金獲得 (2010～2014 年度)

(1) 科学研究費補助金

- ・平成 22 年度～24 年度 若手研究 (B) 「中国明清時代の社会意識と人事制度の相関性に関する研究」研究課題番号 22720261 研究代表者：大野晃嗣 平成 22 年度 1,430,000 円 平成 23 年度 1,170,000 円 平成 24 年度 1,040,000 円
- ・平成 22 年度～24 年度 基盤研究 (B) 「科举文献による明代中国の思想史と社会史」研究課題番号 22320011 研究代表者：三浦秀一 分担者：熊本崇 分担者：大野晃嗣 平成 22 年度 各 500,000 円 平成 23 年度 大野晃嗣 700,000 円 平成 24 年度 大野晃嗣 600,000 円
- ・平成 22 年度～26 年度 基盤研究 (A) 「石刻史料と史料批判による魏晋南北朝史の基本問題の再検討」研究者番号 00184672 研究代表者：伊藤敏雄 (大阪教育大学) 分担者：川合安 平成 22 年度 200,000 円 平成 23 年度 200,000 円 平成 24 年度 100,000 円 平成 25 年度 60,000 円 平成 26 年度 60,000 円
- ・平成 22 年度～25 年度 基盤研究 (B) 「『世説新語』劉孝標注の漢魏六朝文献に関する総合的研究」研究課題番号 22320068 研究代表者：佐竹保子 (東北大学) 分担者：川合安 平成 22 年度 640,000 円 平成 23 年度 300,000 円 平成 24 年度 400,000 円 平成 25 年度 350,000 円
- ・平成 24 年度～26 年度 基盤研究 (B) 「隋唐楽府文学の総合的研究」研究課題番号 24320070 研究代表者：長谷部剛 (関西大学) 分担者：川合安 平成 24 年度 180,000 円 平成 25 年度 180,000 円 平成 26 年度 75,000 円
- ・平成 22 年度～25 年度 基盤研究 (B) 「最新の考古調査および礼制研究の成果を用いた中国古代都城史の新研究」研究課題番号 22320142 研究代表者：佐川英治 (東京大学) 分担者：小尾孝夫 平成 22 年度 300,000 円
- ・平成 25 年度～27 年度 基盤研究 (C) 「中国明清交替期における人事・科举制度の変革とその継承に関する研究」研究課題番号 25370822 研究代表者：大野晃嗣 平成 25 年度 1,950,000 円

- 平成 26 年度 1,560,000 円 平成 27 年度 1,430,000 円
- ・平成 25 年度～27 年度 若手研究 (B) 「近代中国における地方官僚およびその機構に関する研究」研究課題番号 25770252 研究代表者：水盛涼一 平成 25 年度 910,000 円 平成 26 年度 650,000 円 平成 27 年度 650,000 円
 - ・平成 26 年度 研究成果公開促進費 (学術図書) 刊行物『南朝貴族制研究』川合安 平成 26 年度 1,400,000 円

(2) その他

- ・平成 21 年度 東北大学若手研究者萌芽研究育成プログラム (総長裁量経費) 「東北大学附属図書館蔵の拓本資料の基礎的研究」 研究代表者：齋藤智寛 分担者：大野晃嗣 分担者：渡辺健哉 期間 2009 年 4 月～2011 年 3 月 2,000,000 円
- ・平成 22 年度 研究科長裁量経費 「東北大学附属図書館蔵常盤大定収集拓本の研究と公開」 研究代表者：齋藤 智寛 分担者：大野晃嗣 渡辺健哉 300,000 円
- ・平成 24 年度 研究科長裁量経費 「第 61 回東北中国学会公開講演に対する文学研究科共催の申請」 申請者：大野晃嗣 1,400,000 円

V 教員による社会貢献 (2010～2014 年度)

- ・熊本崇 2010 年 9 月 第 9 期有備館講座「『人間』を科学する——文学部の発想」第 5 回講座「北宋の首都開封——『東京夢華録』の世界」 岩出山町有備館
- ・熊本崇 2010 年度 高校出前授業 (12 月)
- ・熊本崇 2013 年 7 月 東北大学オープンキャンパス 文学部案内
- ・川合安 2009 年 9 月から現在に至る 東洋文庫研究員 (客員)
- ・川合安 2010 年 7 月 東北大学オープンキャンパス 文学部公開授業
- ・川合安 2010 年 9 月 宮城県民大学講師
- ・大野晃嗣 2013 年 8 月 第六期齋理蔵の講座「東北大学大学院文学研究科市民のための公開講座・文化理解 (解釈) のキーワード」第三回講座「中国官僚制と科挙」 丸森町教育委員会・齋理屋敷「習の蔵」
- ・水盛涼一 2013 年 7 月 2013 年度「知の広場」第五講「困ってことば、知っていますか? ——中国出版規制の歴史と現在」 河合塾仙台校

- ・水盛涼一 2013年8月 日中文化交流シンポジウム・吉野作造と近代中国「清朝末期における中国の日本人」 大崎市吉野作造記念館
- ・水盛涼一 2014年11月 第66回東北大学祭 研究公開「罔ってことば、知っていますか？——中国言論統制のイマむかし」 東北大学川内南キャンパス

VI 教員による学会役員等の引き受け状況（2010～2014年度）

- 熊本崇 東北中国学会理事 2005年～2010年
- 熊本崇 東北中国学会会長 2010年～2013年
- 熊本崇 東洋史研究会評議員 2002年から現在に至る
- 熊本崇 東北史学会評議員 2003年～2010年
- 熊本崇 東北史学会監事 2010年～2011年
- 熊本崇 東北史学会副会長 2011年～2013年
- 熊本崇 東北史学会会長 2013年から現在に至る
- 熊本崇 東方学会学術委員・編集委員 2013年から現在に至る
- 川合安 東北史学会理事 2003年10月から現在に至る
- 川合安 中国文史哲研究会常任編集顧問 2001年10月から現在に至る
- 川合安 唐代史研究会幹事 2003年8月～2011年8月
- 川合安 東洋史研究会評議員 2006年11月から現在に至る
- 川合安 東方学会学術委員 2011年9月から現在に至る
- 川合安 東北中国学会理事 2013年5月から現在に至る
- 大野晃嗣 東洋史研究会評議員 2005年4月から現在に至る
- 大野晃嗣 中国文史哲研究会常任編集顧問 2004年10月から現在に至る
- 大野晃嗣 東北史学会評議員 2009年10月から現在に至る
- 大野晃嗣 東北中国学会幹事 2010年5月から現在に至る
- 大野晃嗣 史学研究会評議員 2012年4月から現在に至る
- 小尾孝夫 魏晋南北朝史研究会幹事 2008年9月から現在に至る
- 水盛涼一 国際曾国藩研究会理事 2014年5月から現在に至る

VII 教員の教育活動

（1）学内授業担当（2015年度）

1 大学院授業担当

熊本崇教授

- 1 学期 東洋近世史特論Ⅰ 宋元時代の諸問題Ⅰ
- 1 学期 東洋近世史研究演習Ⅰ 宋元政治制度研究Ⅰ
- 1 学期 課題研究
- 2 学期 東洋近世史特論Ⅱ 宋元時代の諸問題Ⅱ
- 2 学期 東洋近世史研究演習Ⅱ 宋元政治制度研究Ⅱ
- 2 学期 課題研究

川合安教授

- 1 学期 東洋古代中世史特論Ⅰ 南朝貴族制の研究
- 1 学期 東洋古代中世史研究演習Ⅰ 六朝礼制の研究Ⅰ
- 1 学期 課題研究
- 2 学期 東洋古代中世史特論Ⅱ 隋唐時代の諸問題
- 2 学期 東洋古代中世史研究演習Ⅱ 六朝礼制の研究Ⅱ
- 2 学期 課題研究

大野晃嗣准教授

- 1 学期 東洋近世史特論Ⅰ 明清時代の諸問題Ⅰ
- 1 学期 東洋近世史研究演習Ⅰ 明清官僚制度研究Ⅰ
- 1 学期 課題研究
- 2 学期 東洋近世史特論Ⅱ 明清時代の諸問題Ⅱ
- 2 学期 東洋近世史研究演習Ⅱ 明清官僚制度研究Ⅱ
- 2 学期 課題研究

2 学部授業担当

熊本崇教授

- 5 セメスター 東洋史各論 宋元時代の諸問題Ⅰ
- 5 セメスター 東洋史演習 中国近世文献史料研究Ⅰ
- 6 セメスター 東洋史各論 宋元時代の諸問題Ⅱ
- 6 セメスター 東洋史演習 中国近世文献史料研究Ⅱ

川合安教授

- 3 セメスター 東洋史基礎講読 『資治通鑑』講読
- 4 セメスター 東洋史基礎講読 『資治通鑑』講読

- 5 セメスター 東洋史各論 南朝貴族制の研究
- 5 セメスター 東洋史演習 『晋書』の研究 I
- 6 セメスター 東洋史各論 隋唐時代の諸問題
- 6 セメスター 東洋史演習 『晋書』の研究 II

大野晃嗣准教授

- 3 セメスター 東洋史概論 中国史概説 I
- 4 セメスター 東洋史概論 中国史概説 II
- 5 セメスター 東洋史各論 明清時代の諸問題 I
- 5 セメスター 東洋史演習 明清史料研究 I
- 6 セメスター 東洋史各論 明清時代の諸問題 II
- 6 セメスター 東洋史演習 明清史料研究 II

3 共通科目・全学科目授業担当

大野晃嗣准教授

- 1 セメスター 歴史学

(2) 他大学への出講 (2010~2014 年度)

熊本崇教授

- 1 学期 石巻専修大学経営学部・理工学部 2010 年
- 2 学期 石巻専修大学経営学部・理工学部 2010 年
- 1 学期 石巻専修大学経営学部・理工学部 2011 年
- 2 学期 石巻専修大学経営学部・理工学部 2011 年
- 1 学期 石巻専修大学経営学部・理工学部 2012 年
- 2 学期 石巻専修大学経営学部・理工学部 2012 年

小尾孝夫助手

- 1 学期 宮城学院女子大学学芸学部 2010 年
- 2 学期 宮城学院女子大学学芸学部 2010 年
- 1 学期 宮城学院女子大学学芸学部 2011 年
- 2 学期 宮城学院女子大学学芸学部 2012 年

水盛涼一助教

- 2 学期 宮城学院女子大学学芸学部 2013 年
- 1 学期 東北学院大学教養学部 2014 年

2 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2014 年
2 学期	尚綱学院大学総合人間科学部	2014 年
1 学期	東北学院大学教養学部	2014 年
1 学期	福島大学大学院人間発達文化研究科	2014 年
1 学期	東京国際大学言語コミュニケーション学部	2015 年
2 学期	宮城学院女子大学学芸学部	2015 年
2 学期	尚綱学院大学総合人間科学部	2015 年
2 学期	東京国際大学言語コミュニケーション学部	2015 年